

活動履歴と今後の予定

10/3 コモンミールWG
 10/7-15 清水沢東住宅居住者アンケート回収
 10/15 清水沢東住宅芋煮会+段ボール棚づくりWS
 10/21 あんしんすまいのシンポジウム@熊本市 登壇
 10/26 空き家活用WS
 10/27 清水沢東運営委員会
 10/29 盛岡市・もりおか復興支援センター視察対応
 11/7 コモンミールWG
 11/9 シェアハウス「越路シエル」見学会
 11/16 韓国放送通信大学訪日記念レクチャー
 11/18 清水沢東居住者アンケート調査報告会
 11/21 第8回理事会
 11/24 清水沢東運営委員会
 11/26 コモンミールWG
 11/28 玉浦西地区相野釜・長谷釜「お茶飲み会」
 11/30 空き家活用WS
 12/3 卵料理の勉強会
 12/9 コモンミールWG
 12/9 玉浦西地区相野釜・長谷釜「作戦会議」
 12/15 清水沢東住宅「第1回自治会をつくる会」
 12/23 清水沢東住宅「クリスマス会」

あすと食堂
好評開催中です！

〈これまでの内容とこれからの予定〉※カッコ内は調理担当団体です。
 10/8 あすと第三食堂(仙台白百合女子大)
 10/21 あすと食堂(KABO.)
 10/29 あすと第二食堂(仙台男子厨房に入ろう会)
 11/11 あすと第三食堂(ほっと亭)
 11/18 あすと食堂(グループひまわり)
 11/26 あすと第二食堂(仙台白百合女子大)
 12/2 あすと食堂(アルンさん)
 12/9 あすと第三食堂(グループひまわり)

お気軽に
ご参加
ください！

会員数
正会員 賛助会員
40 24
(+2) (+1)

facebook
いいね!数
346
(+10)

2017年12月1日 現在(創刊比)

入会のご案内／寄付のお願い

つなセンでは、あすと長町を拠点としつつ、そこで培われた復興コミュニティデザインの経験を、東日本大震災の被災地や熊本など他地域へ伝えるべく、活動しています。民間非営利の立場で、枠にとらわれずに機動的に活動を続けていくためには、皆さまからの会費や寄付が大きな支えとなります。会員として、又は寄付を通じて、ぜひ応援をお願い致します。

継続的に応援するには

正会員又は賛助会員にご入会ください。
 ・正会員：年間6,000円・総会議決権あり
 ・賛助会員：年間3,000円・総会議決権なし

寄付のお振込先

〈口座名義〉特定非営利活動法人つながりデザインセンター・あすと長町
 ●郵便振替：02230-8-121908
 ●銀行振込：ゆうちょ銀行 二二九支店(ニニキュウ) 当座預金 0121908

会員団体のみなさま

@グリーン(宮城大学ボランティアサークル) 安全安心なまちづくり 一般社団法人日本で・あーて推進協会 NPO 法人クラブス
 NPO法人コミュニティ NPO法人 仙台傾聴の会 NPO都市住宅とまちづくり研究会 NPO 法人東日本カウンセリングセンター
 NPO法人東日本ネットワーク手にぎり隊 NPO法人 みやぎ「こうでないと」 共立女子大学 高橋研究室 グループひまわり
 CASEまちづくり研究所 高齢者配食サービス「ほっと亭」 今野不動産株式会社 仙台南健康友の会
 つばさ薬局長町店 東北工業大学 新井研究室 東北工業大学 古山研究室 東北大学 東日本大震災PGT支援機構
 東北福祉大学 平泉研究室 東北学院大学 坂本研究室 都市建築設計集団/UAPP
 日本基督教団東北教区被災者支援センター・エマオ 長崎大学安武研究室 日本ヨーガ療法学会 認定療法士会みやぎ
 みやぎ生活協同組合 宮城大学 森本研究室 有限会社栗駒建業

役員名簿

代表：平泉 拓
 副代表：新井 信幸
 副代表：薄田 榮一
 理事：宮本 愛
 理事：加藤 渉
 理事：森山 英子
 理事：宮内 仁子
 監事：坂本 泰伸

編集後記

9月を過ぎ事務局スタッフも増え、アンケート調査やイベントのお手伝いで地域の方と交流を図る東北工業大学の新井研究室の学生さんも加わり、自治会形成支援や空き家活用の取り組みも活発になってきました。これからも、つなセンでは多様化する取り組みを通じて皆様に興味深いと思っていただけるような情報をあすと新聞でお届けしますので、来年も変わらぬご支援を宜しくお願い致します。[事務局スタッフ・八巻さち]

特定非営利活動法人

つながりデザインセンター・あすと長町

〒982-0011 仙台市太白区長町六丁目4番17-502号

TEL 080-3205-5177
 MAIL asuto@tsuna-cen.com
 WEB www.tsuna-cen.com



ヒト・モノ・コトをゆるやかにつないでいく

05
2017.12

あすと新聞

ASUTO NEWS



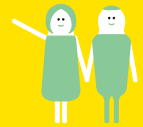
清水沢東災害公営住宅で開催したたなづくりワークショップ。子供たちは自分で作った作品に満足げでした！

集まることから始めよう！

空き家活用による居場所づくりの検討を始めています
 トヨタ財団報告会に参加しました
 新しい仲間を紹介します！
 【団体紹介】仙台南健康友の会

活動報告

Main Topic



安心して暮らせる住宅へ

塩竈市・清水沢東災害公営住宅

1 始まった新しい暮らし

「入居から1年経っても自治会が立ち上がらない」。そんな声が各地の災害公営住宅から聞こえてきますが、つなセンが支援している清水沢東住宅(塩竈市)もそのうちの一つです。丘陵地に建つ170戸の災害公営住宅は、昨年7月に3号棟(31戸)の入居が始まり、その3か月後に1,2号棟(139戸)が入居開始となりました。あすと長町(仙台市)と同様に、多様な地域から居住者が集まったところですが、子供たちや若いファミリー世帯も多く、イベント時は活気に溢れています。



今年4月には、既に世話人会が立ち上がっており、若いママさんたちが会の中心的な役割を担っていました。しかし、日中は自身のお仕事、帰宅すれば子育てと住宅内のささいなトラブルの対応に追われ、自治組織の形成に向けた検討は思うように進みませんでした。それでも県の助成を受けて、夏祭りや芋煮会(ダンボールたなづくりも開催)等を主催し、住民同士のつながりを築いていきました。



▲ 夏祭り(7月30日)にはさとう宗幸さんも駆けつけて、大いに盛り上がりました。



▲ 居住者たちが主催した芋煮会(10月15日)。老若男女が集う賑やかな場となりました。



▲ 芋煮会と同時開催したダンボールたなづくりワークショップでは、大勢の子供たちが集まり思い思いのデザインを施しました。

Topics

空き家活用による居場所づくりの検討を始めています

今年春頃より、長町近辺に立地する空き家に関するご相談を受け、検討を進めています。最初の段階として、長年、数世代にわたる暮らしで蓄積されてきた数多くのモノが大きな壁となりました。オーナーさんにとっても、これらのモノの処分が、活用を考える上での障害の一つとなっていたため、一緒に整理・片付けから取り組み始めることに。



に。学生さんらの協力も得て、大量の衣類、食器類、書籍等々、一個一個要否を確認し、不要なモノは行き先を探しながら、少しずつ進めています。運よく、つなセン会員のネットワークで、食器類はバザーに提供したり、古い着

物を手芸サークルに提供したりなど、新たな行き先を見つけることのできたものもありました。一方で、処分したのは、これまでに衣類12袋と不用品約300kg!今後大量に発生する空き家をどうしていくか、社会的にも大きな課題となっていますが、活用の壁を阻む最初の壁が残されたモノの整理・処分であると思います。つなセンとしても、オーナーさんとともにひとつひとつプロセスを辿ることで、ノウハウの蓄積にもつながっています。今後についてはまだ協議中ですが、人と人をつなげる居場所づくりを目指し、つなセンらしい提案をしていきたいと考えています。



2 自治組織づくりに対する多様な考え方

つなセンでは、今年10月に東北工業大学新井研究室等と共同で、居住実態と自治組織形成への意向把握のためのアンケート調査を実施しました(回収率77.8%)。

調査結果からは、高齢化と世帯の小規模化が進み、家族以外に日常的に会話する相手が「特にいない」が41.5%など、孤立化が懸念される状況が透けて見えてきました。自治組織については「棟別」及び「3棟合同」で設立したいがそれぞれ約4割、設立後について「自治会員になりたくない」が約4割など、多様な意見があることが伺えました。11月18日には調査報告会を開催し、参加した約20名の居住者らと意見交換を行い、自治組織の設立を検討する会を別途設けて進めていくことが確認されました。

一般的な市街地と公営住宅の自治組織の違いは、共同管理の要素が含まれるところにあります。具体的には屋外の草木、駐輪場、ゴミ置場、共用部照明等の管理、集会所の運営等が挙げられます。これらのルールをつくって実行していくには、居住者同士の信頼関係は不可欠です。今後は居住者同士の関係を醸成していきながら、自治組織の担い手づくりを行っていきます。その過程では、居住者同士でしっかり話し合っ、居住者自身が答えを出していくことが大切になります。つなセンは、そんなスタンスで清水沢東住宅の支援を継続していきます。



▲ つなセンと工大新井研究室で開催したアンケート調査報告会(11月18日)。学生さんたちが緊張しながら調査結果を発表しました。

会員
団体紹介
No.05

仙台南健康友の会



仙台南健康友の会は、地域の方々の健康で長生きしたい、住み慣れた街で安心して暮らしたいという想いを大切にし、健康やいきがづくり、安心して住める街づくりに取り組み、様々な活動を行っている団体です。

あすと長町での活動では、仮設住宅の時から住民の方の健康チェックを行っていて、現在は、あすと長町第一、第二、第三市営住宅の集会所でそれぞれ3ヶ月に1回、健康カフェを開催し、訪れた方の話を聞きながら血圧などを測定し、健康チェックや医療相談などに対応しています。

10月7日にあすと長町第一市営住宅で開催された健康カフェでは、自宅で出来るストレッチや体操を住民の方と一緒にやり、歌いなら筋トレをしたり、脳トレをしたりと、皆さんが笑顔になって楽しそうに取り組まれていました。

健康カフェの開催日程は、つなセンイベントカレンダーにも掲載していますので、お気軽にお立ち寄りください。

トヨタ財団報告会に参加しました 9/22

岩手県陸前高田市にある「りくカフェ」で行われた、トヨタ財団の2017年度「東日本大震災特定課題」の中間報告会に出席しました。「共用スペースの上手な使い方」という課題について、7団体が発表し、つなセンでは「あすと食堂」や「生垣WS(@玉浦西)」等の事例を報告しました。後半は「移動支援」、「やる気」、「ケアつきりタイアメントコミュニティ」といったテーマで課題解決に向けたWSが行われ、やり取りを通して各団体の詳しい取り組みを知ることが出来ました。他団体との交流や学びの場となり、今後の取り組みに繋がる良い機会が得られました。



新しい仲間を紹介します！

取り組みの量や幅が広がっているに伴い、今年度より事務局スタッフを増員しています。9月からは3名体制になり、早速、あすと食堂をはじめ、塩竈、岩沼、福島と飛び回っています。これまで大学で建築・まちづくりを学んだり、復興支援の仕事に携わっていたり、災害危険区域のまちづくりに取り組んでいた、若いですが頼りになる面々です。見かけましたら、お気軽に声をかけてください。

[右上写真: 左から、八巻さちさん、星歩美さん、鈴木築くん]

